



がん対策

高梨 明美



問 岩沼市のがん予防に対する取組と対策を伺う。

健康増進課長 国が指針で示した5つのがん検診を行っています。課題としては、受診率の向上と禁煙などの生活習慣対策によるがん予防の普及啓発と考えています。

問 新年度に向けてはどのように進めていくか伺う。

健康増進課長 受診率の向上については、特定健診を受診する際にクーポン券を配布して、受診率の向上につなげていきたいと考えます。

胃内視鏡検査導入どうか

問 岩沼市のがん検診の受診率について、特に胃がんの受診率が最も低い。厚生労働省のがん検診の在り方に関する検討会で、胃がん検診に新たに内視鏡検査を追加することが示された。仙台市では、今年度からバリウム検査と内視鏡検査の選択方式の導入をしている。また、この取組に対して仙台市では当初の受診申し込み予定数を大きく上回り、内視鏡検査の需要が

多いことを実感した。そこで、受診率向上のためにも内視鏡検査を導入してはどうか伺う。

健康福祉部長 診断体制の構築、制度管理の体制の構築、さらに地元医師会との調整が必要となってくることから、現段階での導入は難しいと考えます。

問 岩沼市だけで難しい場合、2市2町の連携とか、県で取りまとめる等の対策が必要ではないか。

健康福祉部長 検討していますが、なかなか体制がとれていないという現状です。

問 胃がんリスク検診の導入は、胃がんにピロリ菌の感染が深く関わっているということに焦点を当てた検診である。住民健診にピロリ菌検査を導入してはどうか伺う。

健康福祉部長 効果、実施方法について検討していますが、検査で陽性となった場合の支援など、まだ課題があり、実施するまでの考えには至っていません。

◎その他の一般質問  
・子育て支援



安心して子育てできる環境整備

布田 恵美



問 旧亀塚第一住宅跡に現在建設中の複合施設内には、市内初の市立亀塚保育所から民間保育所へと移行する事例があり、利用対象の子どもたちや保護者に丁寧な対応が求められる。新保育所開園時期はいつで、保護者向けにどのような頻度で説明会を行ってきたのか。

子ども福祉課長 開園は令和3年4月1日と伺っています。説明会は昨年8月20日、11月12日、今年2月17日に実施し、施設に関する要望や運営についての意見を伺っており、今後も継続していく予定です。

問 保護者から不安の声は出ていないか。また気になる子(グレーゾーン)への不安はないのか。

子ども福祉課長 職員は新しい保育所に移るのか、開所が予定通りか、という声です。亀塚保育所で保育をしているお子さんは全て受け入れる人員体制で臨むという返事をいただいております。

問 通う子どもたちにとって移行時期の配慮(従来の先生と新たな施設の担当予定の先生と一緒に保育も必要だと思いが、いかがか。

子ども福祉課長 子どもたちに不安が起きないように、保護者の意見を聞きながら、交流なども考えながら丁寧に進めていきます。

防護柵設置箇所はどこか

問 安心・安全なインフラ整備の中で、スクールゾーンの主要交差点への防護柵設置があるが、具体的な設置箇所はどこになるのか。

土木課長 スクールゾーンを含む未就学児が日常的に集団移動する経路の公道を点検した結果、二木大通り線ほか6路線10力所となります。

問 どのような形状か。

土木課長 車両用の三段のガードパイプとなり、防護柵対策やカラー舗装など視覚的対策箇所もあります。

◎その他の一般質問  
・いきいきとした活力あるまちづくり